

**Q** 新しい人の流れをつくるための施策は。

**A** 地方移住促進として政策パッケージが示されており、「境町地域づくり協力隊」を新規事業として取り組み、ブランドの掘り起こし、子育て支援、観光開発等町の活性化に取り組んで行く。

(参事企画経営課長)



**Q** 地域資源の活用は。

**A** 農産物や観光資源、さらに地域に埋もれた資源を活用して、ブランド化、販路開拓等の事業を展開し、雇用機会の確保や創出につながる産業政策に取り組んで行く。

(参事企画経営課長)

○介護保険について

**Q** 第6次介護保険事業で、65歳以上の方の介護保険料を本年4月から26・8%引き上げたが、その理由は。

**A** 要介護認定者数が、事業開始後、996名と2・5倍に増加し、介護保険総給付費を今後3年間で8億8千万円の増加の53億7千万円と見込んで保険料を引き上げた。将来に向けて持続可能な施策、健全な事業運営に取り組んで行く。

(福祉部長)

**Q** 今後の介護予防の取り組みは。

**A** 要支援要介護を受けていない65歳以上の方を対象にした調査結果をもとに筋力トレーニングや転倒防止のための「いきいき健康教室」の実施や老人クラブへ出向いた体操教室やシルバリーハビリー体操、趣味活動を行う介護予防目的教室等これらの事業を積極的に展開するとともに魅力ある介護予防事業の発掘に努め、介護保険給付費及び介護保険料の上昇を極力抑制して行きたい。

また、平成30年度実施を目的に地域包括支援システムを構築し、「住み慣れた地域で生活を継続する」施設介護から在宅介護へ切れ目のない対策を支援をして行く。

(福祉部長)

○境町の広報誌について

**Q** 「広報さかい」は、どのような視点から情報を発信しようと考えて作成しているのか。

**A** 町民と行政をつなぐ情報誌としてとらえ、町民の目線に立ち、職員自ら取材し、読みやすく、理解しやすく、どういったところに関心を持っているのか検討して作成している。

(秘書公室長)

**Q** 「広報さかい」4月号が、定例議会の議案の賛否状況を議員の名前入りで掲載した理由は。

**A** 予算という大事な提出議案であり、町民の求めている情報と判断して発信した。

(秘書公室長)



議席12番

内海 和子 議員

○図書室について

**Q** 図書室の改築が予定されているがどのような設計になっているのか。読み聞かせや専門図書のコナーはどうなるか。

**A** 児童図書のみのリニューアルということなので、そのほかは今後検討する。

(教育次長)

**Q** 図書室なのでCDやDVDの貸し出しもなく、パソコンも使えない。図書館への移行はないか。

**A** CDはないが、DVDについては幼児対象に60作品が貸出できる。図書館への移行は財政上今後の課題。

(教育次長)



内海 和子 議員